

焼津市では、平成 26 年 3 月に全国初となる「焼津市津波防災地域づくり推進計画」を策定し、ハード・ソフト対策の施策を組み合わせた「多重防御」の対策を進めています。

①命を守る ②財産を守る ③生産活動を守る

この推進計画は、第1に「人命を守ること」、次に「財産を守ること」、そして、産業の継続性のため「生産活動を守ること」を目的に策定したものです。  
市民の生活の安定や地域経済の活性化など、既存のまちづくり計画との整合を図りつつ、大規模な地震・津波災害に対する防災・減災対策を効率的かつ効果的に実施し、「多重防御」の発想により、地域の発展を展望できる津波防災地域づくりを推進していく上での指針とします。

問合せ先 危機政策課 ☎625-0128

新屋石油タンク基地の胸壁改良(完了)

問合せ先 漁港環境課 ☎626-1192



▲鋼管杭基礎施工状況

▲改良工事完了後

(提供：静岡県焼津漁港管理事務所)

静岡県では、新屋石油タンク基地海側にある胸壁の耐震・耐津波性能を向上させる改良を行いました。  
平成 26 年度は胸壁下の地盤改良工事、平成 27 年度からは鋼管杭基礎工事等を実施し、平成 29 年 2 月に完了しました。

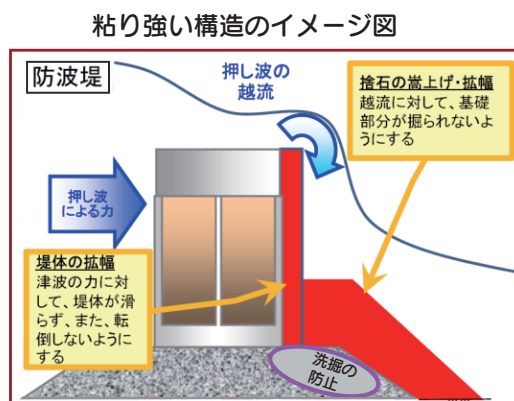
防波堤の粘り強い構造への改良

問合せ先 漁港環境課 ☎626-1192



(提供：静岡県焼津漁港管理事務所)

静岡県では、焼津外港南防波堤など焼津漁港の沖にある防波堤の「粘り強い構造への改良」工事に着手しています。  
防波堤の基礎部分の洗掘を防ぐために設置するコンクリートブロックの製作を平成 27 年度から進めており、平成 29 年度からは焼津外港南防波堤へのコンクリートブロック設置工事を始めています。



(出典：東日本大震災を踏まえた漁港施設の地震・津波対策の基本的な考え方 (水産庁))

焼津漁港の津波防護対策(案)

問合せ先 漁港環境課 ☎626-1192



焼津漁港では、漁港背後地の人命・財産を津波から守るための対策はもとより、さらには漁業・水産業の継続性を確保して経済被害を回避するための対策を、静岡県が並行して進めています。現在、焼津漁港の沖にある防波堤の改良工事が行われています。また、胸壁と港口水門の本格的な検討も行われており、その後、その検討結果を踏まえ、調査・設計・工事が行われる予定です。

(仮称) 大井川防災広場整備事業

事業概要

焼津市は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の被害状況を踏まえ、今後予想される南海トラフ巨大地震に備え、本市の防災体制を整備し、拡充していくことが急務であると考えています。  
そのため、平常時はスポーツやレクリエーション等、多目的に利用できる広場として、また災害時には発災時から復旧・復興時までの時間経過を踏まえ、各ステージで防災機能が発揮される、防災上の重要な拠点となる防災広場の整備を進めています。  
問合せ先 公園・地籍課 ☎626-2165

事業面積：約 14.3ha  
整備計画：平成 29 年度 広場周辺の水路整備、施設整備、敷地造成  
平成 30 年度～ 施設整備

※整備が完成したところから順次開放していく予定です。



【発災時のイメージ】



大井川港における津波対策施設の計画(案)

問合せ先 大井川港管理事務所 ☎622-1337



大井川港では、背後地の人命・財産を津波被害から守るため、港内の津波対策施設の整備を計画しています。  
赤色の線は、レベル1対策として、胸壁や陸間を整備しようとするもので、平成 34 年度末の完成を目標に、平成 27 年度から基本計画を作成し、測量、調査、実施設計を進めています。  
黄色の線は、既存の防潮堤や堤防の耐震化、粘り強い構造への改良をするために、関係機関と協議中です。